

はじめに

「あいサポーター」とは

「あいサポートバッジ」を身につけ、障がいの特性や必要な配慮などを理解して、障がいのある人を手助けする人のことです。

特別な技術などを習得して支援するのではなく、日常生活のなかで障がいのある人が困っているときなどに、「ちょっとした手助け」を行う意欲のある人なら、誰でもなることができます。自分のできる範囲で活動していただきます。

障がいのある人とは

障がいのある人とは

以前は、「障がい」は、身体障がい、知的障がい、精神障がいなどの、その人の心身の状態から生じると考えられてきました。

現在は、心身の機能の状態だけではなく、様々な「社会的障壁」があることによって、日常生活又は社会生活に相当な制限を受けている状態にある人をいいます。

社会的障壁とは

「障害のある者にとって日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のものをいう。」

しょうがいしゃ きほんほうだい じょう
(障害者基本法第2条)

たと
(例えば)

- **事物** 障がいのある人にとって使いにくい施設や設備
(建物の入り口の段差、字幕のないテレビ番組、手話通訳のない講演など)
- **慣行** 障がいのある人を意識していない慣習、文化など
- **観念** 障がいのある人への偏見など

社会的障壁は誰にでもあります

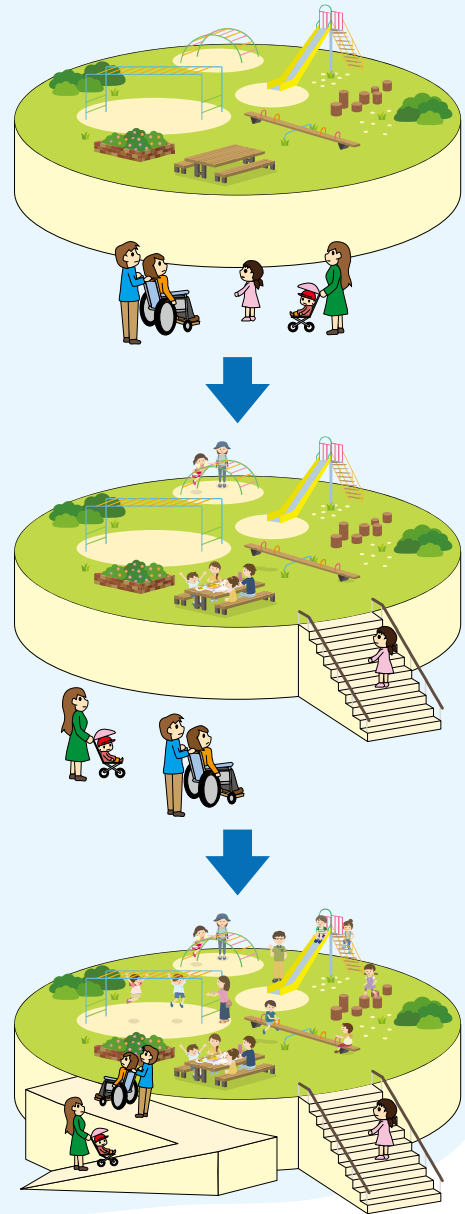
断崖絶壁の上にある公園には、誰も行くことはできません。誰にとっても、障壁がある状態です。

そこに階段が設置されれば、歩いて行くことができます。

それでも、車いすを利用している人や、ベビーカーを使用している人は公園に行くことができず、障壁が残されています。

そこにスロープを設置すれば、誰もが公園に行けるようになります。

車いすを利用している状態は変わらなくても、まわりの状況が変わることによって、「公園に行けない」という障がいが解消されます。



誰もが暮らしやすい社会へ

現代社会において、障がいのない人が、不自由なく社会参加できているのは、障がいのない人を基準にして、すでに多くの社会的障壁を取り除かれているからといえます。

障がいのある人に対しても、社会的障壁を取り除くことによって、誰もが暮らしやすい社会にしていくことが求められています。